「令和6年能登半島地震等からの復興連携カルテット会議」の発足について

◆ 能登半島地震の発生から約１年３か月が経過、既に能登6市町においても復興計画が策定されているところであるが、様々な事情から被災地の事業者の再建は道半ばにある。

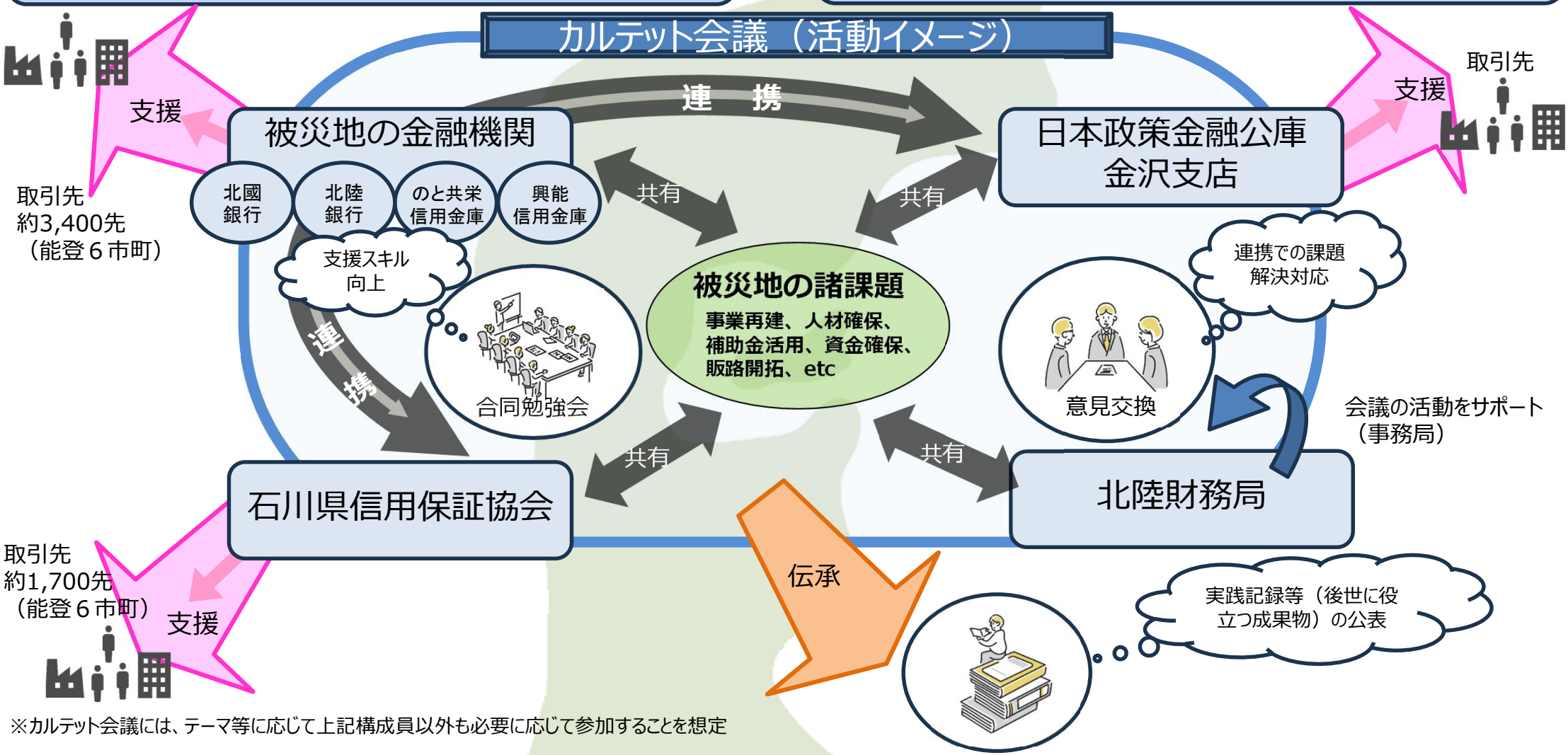
◆ こうした中、金融機関等には、被災地を取り巻く環境の変化や事業者の実情等に応じ、資金繰り支援にとどまらない、総合的な支援に継続的に取り組むことが期待されている。

カルテット会議（略称）の設置、目的

被災地の様々な課題等を共有することで、金融機関等の支援力の強化を図り、復興を後押し

人口減少・高齢化が急速に進んでいる地域における、貴重な経験（連携支援の実践記録等）を将来に伝承

カルテット会議（活動イメージ）



※カルテット会議には、テーマ等に応じて上記構成員以外も必要に応じて参加することを想定